

生徒指導×地域課題解決へのプロセス

ー学校と博物館・考古学とのかかわりの中でー

○八田友和・鈴木康二
(特定非営利活動法人ちゃいれじ)

はじめに

1, 研究の背景と目的

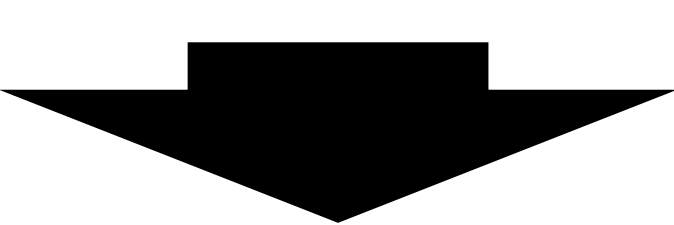
文部科学省が2022年12月に、『生徒指導提要』を12年ぶりに改訂・公表した。そもそも、『生徒指導提要』は、「小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の理論・考え方や実際の指導方法等について、時代の変化に則して網羅的にまとめ、生徒指導の実践に際し教職員間や学校間で共通理解を図り、組織的・体系的な取組を進めることができるよう、生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書」と捉えることができる。(『生徒指導提要(改訂版)』のまえがきより引用)

本発表では、『生徒指導提要(改訂版)』を読み解いた上で、生徒指導に博物館や考古学、考古学者がどのように関わることができるのか考察する。

2, 『生徒指導提要』を読み解く...前に！

【学校教育の目標】

- 人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成(教育基本法第1条)
- 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養う。(同法第2条第2号)



【生徒指導の定義】

児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するため、必要に応じて指導や援助を行う。
(『(改訂)生徒指導提要』)

(1) 自己存在感の感受

「自分も一人の人間として大切にされている」・自己肯定感

(2) 共感的な人間関係の育成

支持的・創造的な学級づくり

(3) 自己決定の場の提供

主体的な選択・決定を促す自己指導力の獲得を目指す

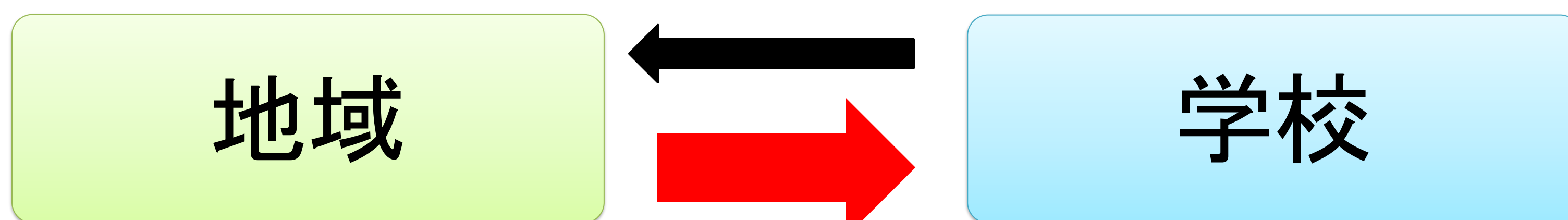
(4) 安全・安心な風土の醸成



✗ 生徒指導＝怖い・きびしい・暗い・つらいといったマイナスイメージ

4, 生徒指導×地域課題解決へのプロセス

現状の視点



※地域にある資源を学校に注入することが重視されがちである。

【乗り越えるべきポイント】

- ・短期・単発の連携が多い。継続しにくい。
- ・成果がわかりにくい。すぐに目に見えてわかるものでもない。
- ・教員と学芸員では、ベースとしている考え方や対象が異なる
(学校は児童生徒を対象、歴史系博物館は資料を対象にしている)
- ・お互いのベースとなっている考えを尊重・理解する。
(例) 学習指導要領の内容を両者が理解する。
- ・社会の中で自分らしく生きるためにも、学校外での積極的な活動が求められる。

まとめ

5, 今後の展望について

本研究では、生徒指導における考古学の関わり方について、『生徒指導提要』の改訂を踏まえながら整理してきた。これまで、考古学の研究成果は、社会系科目(特に歴史における原始・古代史学習)に役立てていこうとする風潮が強かったように感じる。そのため、歴史教育において考古学の成果が反映され(研究や実践が蓄積され)、ある程度の成果を生み出した。その一方で、学校教育における考古学の関わりがある程度限定されてしまったとも感じている。今後は、「考古学と生徒指導」「考古学と街づくり」など、歴史科目以外での活用についても模索すべきであろう。

3, 『生徒指導提要』と考古学のかかわり

生徒指導の構造を「**2軸3類4層構造**」として捉える。

(児童生徒の課題への対応を時間軸や対象、課題性の高低という観点から類別して、構造化する)

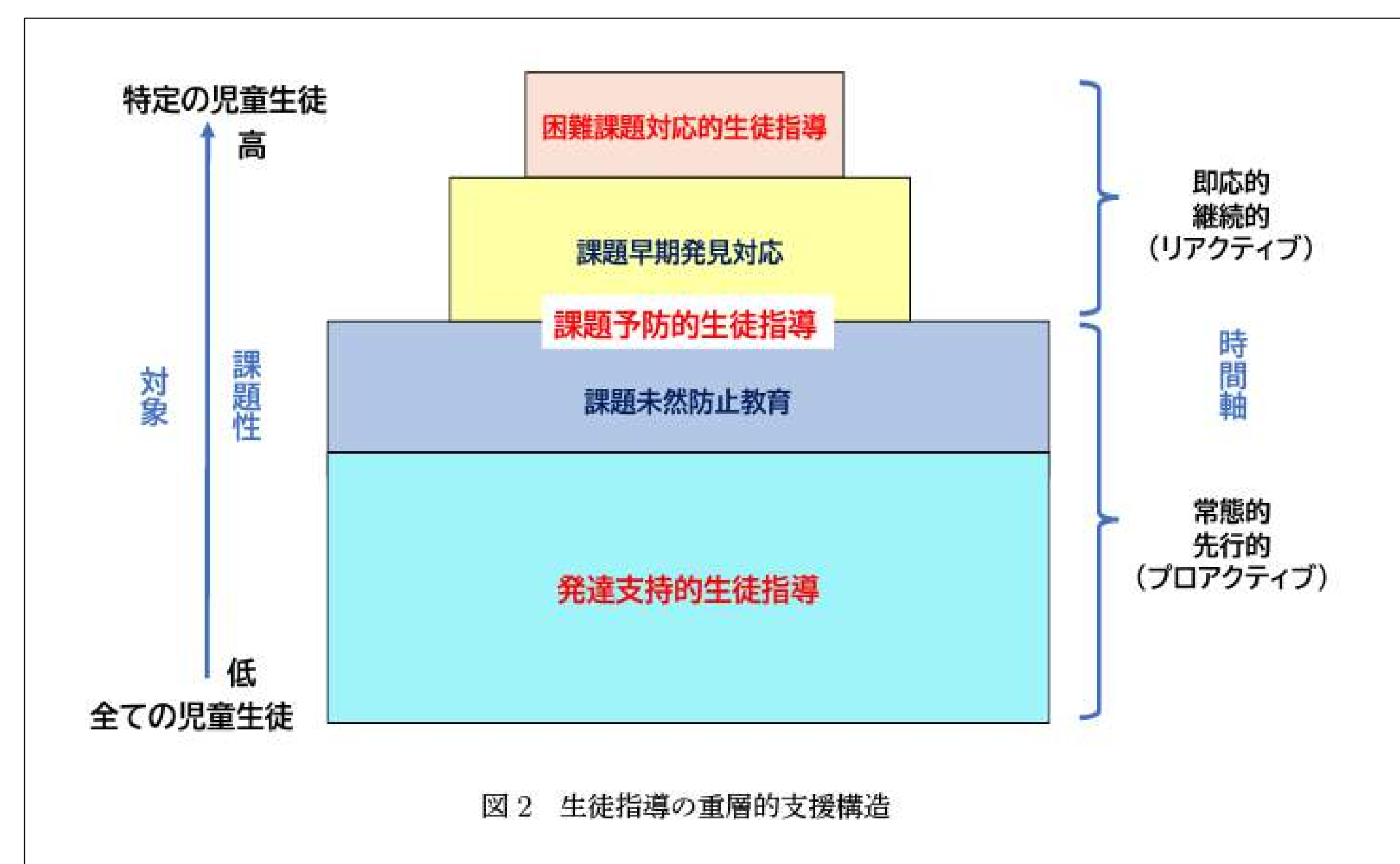


図2 生徒指導の重層的支援構造

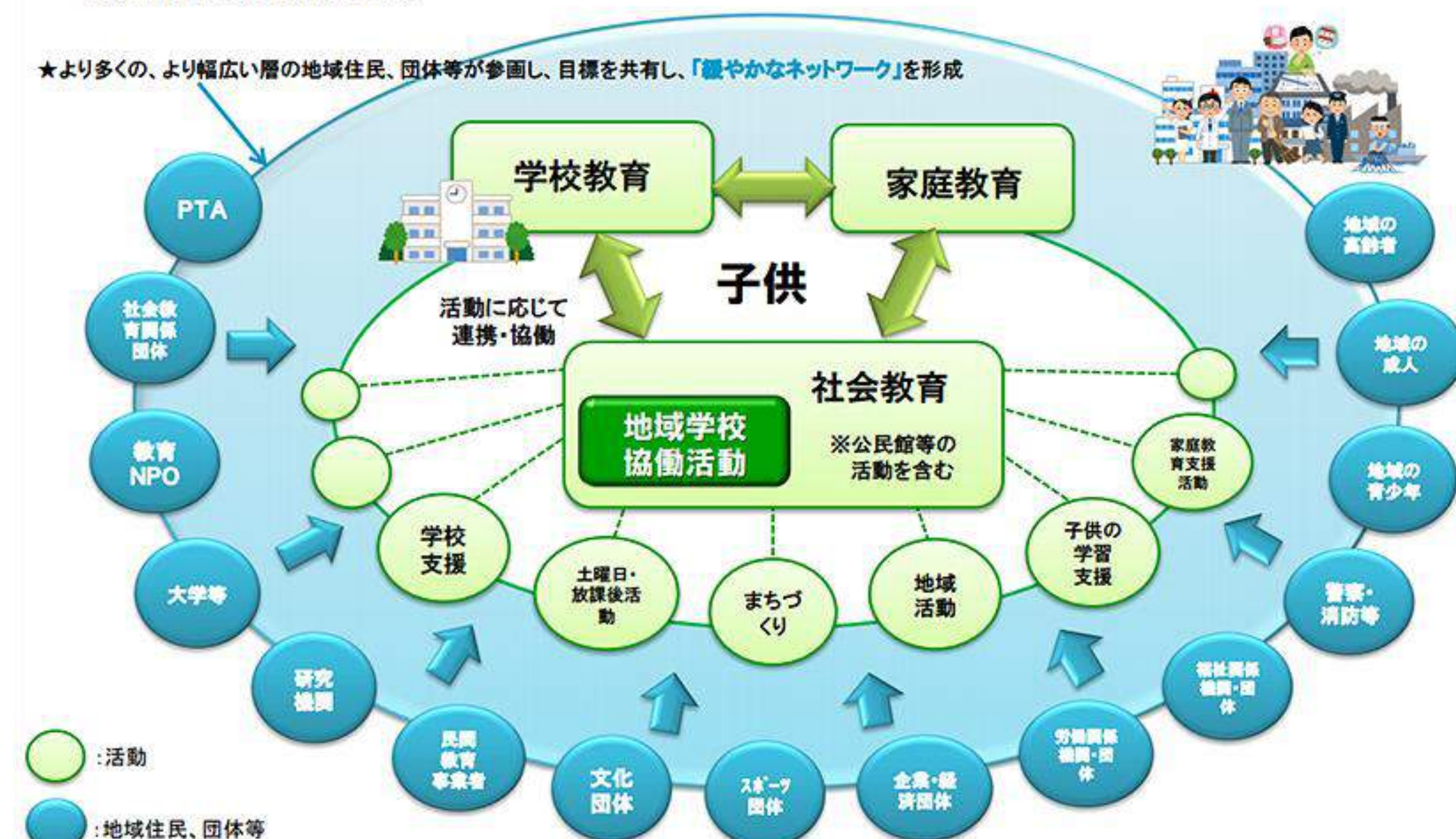
博物館や考古学者は、**発達支持的生徒指導** において
はかかわりやすい！？



- 学校関係者だけで良いのか？→関係機関以外との連携も必要(博物館や公民館などの社会教育施設との連携を模索する)
- 日常のかかわりが大切になることから、出前授業や職業体験、授業における博物館活用のように一過性で終わらないことが大切。
- 社会教育施設が、普段から学校と関わりをもつことが大切！

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み(活動概念図)

- ◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎ 従来の地縁団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。



(出典)「学校と地域でつくる学びの未来」(最終確認2023年3月15日)
<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/kyodo.html>

【会場発表】2023.4.22-23 【オンライン掲示】2023.4.22-5.31
(考古学研究会第69回総会・研究集会 ポスターセッション)

本発表で使用したイラストは「いらすとや」が公開している、学校をテーマにしたイラストを利用しています。筆者の所属を含め、記載されている情報は全て令和4年3月1日時点である。

【参考文献】

- ・今西幸蔵(編)2022『生徒指導・進路指導の理論と実践』法律文化社
- ・文部科学省2010『生徒指導提要』教育図書
- ・文部科学省2022『生徒指導提要』(改訂版) ほか